

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【子育て分野】

佐賀県学童保育支援センター事業 【佐賀県】

事業概要

放課後児童クラブの総合的な相談・支援の窓口となる学童保育支援センターを設置し、クラブの運営や活動をきめこまやかに支援することにより、子どもたちの安全で豊かな放課後の居場所づくりを推進する。

委託先

特定非営利活動法人
佐賀県放課後児童クラブ連絡会

新たな雇用 創出数

20名

事業費

66,004千円
(平成21年度)

事業 開始

平成21年
5月～

業務内容

放課後児童クラブへの訪問支援・相談支援事業

支援センターの支援員が、放課後児童クラブを訪問し、相談支援を行います。

ネットワーク事業

放課後児童クラブの課題を解決するための行政、学校、地域の子育て支援関係団体等による支援体制づくりを行います。

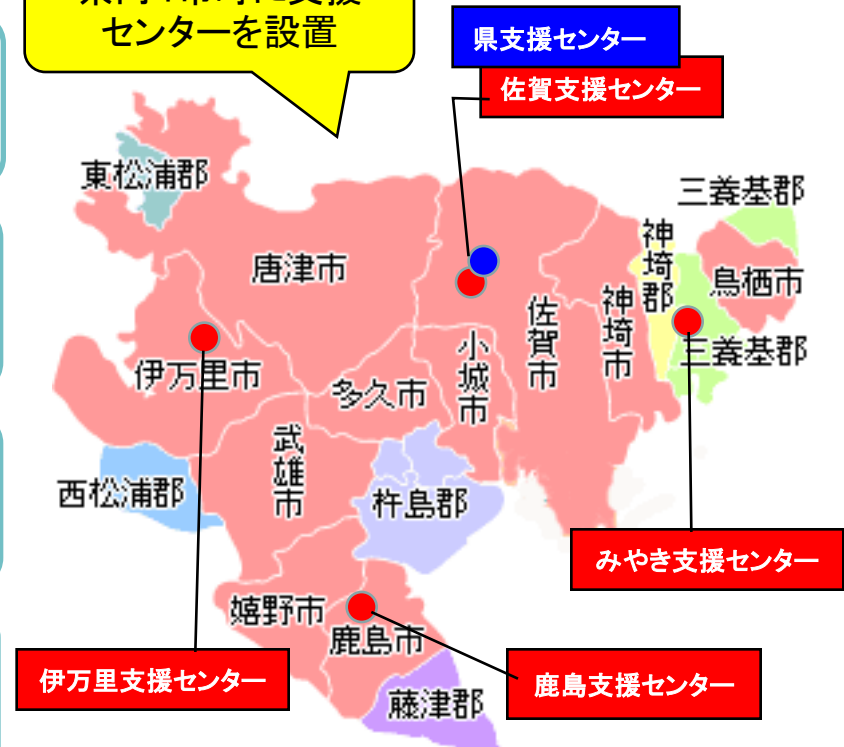
専門機関からの専門相談員の派遣、出前講座等の提供事業

外部の専門相談員等の派遣による相談支援や放課後児童クラブへの出前講座等の提供を行います。

人材養成及び人材バンク登録・管理事業

指導員の養成や初任者研修等を行います。
指導員の人材バンクの設置・登録・管理事業を行います。

県内4市町に支援
センターを設置



支援員の活動状況

現在、県内約200箇所の放課後児童クラブを訪問して、指導員や保護者の方々からの相談を受けたり、地域の団体みなさんとともに遊びや生活づくりのプログラムを提供したりしています。



伊万里支援センター
中原 健太郎さん

放課後児童クラブへの様々なプログラム提供を通して、子どもたちとふれあうことがとても楽しいです。放課後児童クラブをもっともっと楽しいところにしていきたいです。



鹿島支援センター
山口 亮子さん

放課後児童クラブの指導員という立場を離れて見えてきたものがあります。今必要とされている支援は何なのかを考えながらがんばっている指導員さんを応援していきます。

◆放課後児童クラブの指導員は毎日悩みながら子どもたちと接しています。現場の課題を一緒に考える仲間として、私たち支援員をどんどん利用してください。
◆私たちは地域の情報を放課後児童クラブに届けるだけでなく、子どもひとりひとりの成長を一緒に見守っていきたくて考えています。

◆放課後児童クラブがひとりひとりの子どもにとって安全で心地よい居場所となる

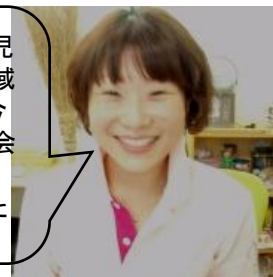
◆地域が子どもに温かなまなざしを向ける
◆子育てが社会の喜びとなる

保育士の経験を活かして、今まで直接子どもと接していた立場から視点を少し変えたところで、放課後児童クラブの支援を行っています。



みやき支援センター
泉 折恵子さん

支援員として放課後児童クラブの訪問や地域の中へ動き出して、今までにない幅広い出会いを重ねています。子どもたちの笑顔のためにがんばります。



佐賀支援センター
早田 磨理子さん



オープニングフェスタでは支援員全員が放課後児童クラブの充実と発展を目指して活動する決意表明を行いました。



学童保育支援センタースタッフ

鹿島市中心市街地活性化推進事業 【佐賀県鹿島市】

事例紹介

ふるさと雇用再生
特別基金事業
【産業振興分野】



中心市街地活
性化のため、
力を合わせて
頑張ります。



事業概要

中心商店街のイベント開催や個店への講習会等を通じ商店街や個店の魅力向上を図り、空洞化しつつある中心市街地の再活性化を図る。

委託先

鹿島商工会議所

新規雇用数

4人

事業開始

平成21年5月～

委託費

1,411万円
(平成21年度)

事業内容

- (1) 中心商店街等のHPの作成や情報誌発行に関すること。
- (2) 商店街共同大売出し等の企画や個店指導・講習会の開催補助に関すること。
- (3) 買い物代行サービスのニーズ調査及び実施に関すること。
- (4) まちなか案内所(コミュニティ施設)の管理運営や施設での教室・講座の開催に関すること。

○地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

佐賀県	0.41倍
鹿島管内	0.36倍



平成21年5月16日に開設した
〔なかいけ庵 よらんね〕
「なかいけ」とは、途中休憩という意味。買い物等の途中休憩で利用してもらいたい。